

各位

上場会社名 株式会社 テイン
 代表者 代表取締役社長 市野 諒
 (コード番号 7217)
 問合せ先責任者 取締役 那須 賢司
 (TEL 045-810-5511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,979	98	93	52	9.69
今回発表予想(B)	1,625	43	34	△100	△18.31
増減額(B-A)	△354	△54	△58	△153	
増減率(%)	△17.9	△55.7	△62.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,558	210	237	129	20.36

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,834	48	45	27	5.01
今回発表予想(B)	1,344	△42	△41	△142	△26.03
増減額(B-A)	△489	△90	△87	△169	
増減率(%)	△26.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,471	227	271	162	25.43

修正の理由

<連結>

当第2四半期連結累計期間における連結売上高につきましては、世界経済の混乱による景気の低迷が内外のカーアフターマーケットにおける消費マインドにも大きな影響を及ぼす結果となりました。特に主力となる国内市場におきましては、高速自動車道の利用料金引下げの効果によるロングドライブの増加等もあって好調に推移したタイヤ・ETC車載器・カーナビゲーションなどを除いて極めて低調であったことにより、当社製品の受ける影響も大きく、期初の計画に対して下回る見通しとなりました。このような経営環境の中、徹底した固定費や経費の削減、また生産体制の改革などを鋭意推進いたしました。このように売上高の減少に伴う売上総利益の減少が損益全体に影響し、経常損益では利益を確保したものの期初の計画を大きく下回る見通しとなり、さらには後述する繰延税金資産の取崩しの影響から、連結業績予想の修正をおこなうものであります。

<個別>

個別の業績予想についても連結と同様の理由により、上表のとおり修正いたします。

○繰延税金資産の取崩しについて

当社は税効果会計に係る会計基準に従い繰延税金資産を計上しておりますが、当期の業績推移に鑑み、将来の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討いたしました結果、現段階では当期末での十分な課税所得が見込めないことが予想されるため、当第2四半期において繰延税金資産を取崩すこととし、連結において119百万円、個別において99百万円の法人税等調整額を計上いたします。

○通期の業績予想について

前述の状況を鑑み現在慎重に検討をおこなっておりますので、開示が可能となり次第速やかに公表いたします。

以上